

大宮神社社報

社報第20号
大宮神社
大阪市旭区大宮
三のの一の三七

境内樹木の枝はらい

二月に境内樹木の枝はらいを行いました。楠社の御神木である楠さんをはじめとする境内裏手の樹木が対象です。

神社には樹木が多く大木になるほど枝も太く重くなるため、当社では今までも定期的に枝はらいを行い、安全管理の維持

に努めてきました。台風時の枝の落下や老化による倒木で起こる対人事故、建物・車など物損事故は全国的に見られます。

境内の外まで広がった大木の枝が道路に落ちる事故の例もあります。当社でも台風で二メートル近い大枝が落ちたり、大

が道路に落ちたりなど、近年ヒヤリとする事例がありました。

特に楠社の楠さんは枝ぶりが天高く大きく湾曲して伸びて、万が一折れたら大事故になるおそれがあり、また稲荷社前の楠の大木は本殿拝殿の屋根に大きくかかり、大枝が落ちれば本殿拝殿を壊しかねない状態になっていました。

当社の本殿は昭和十一年、拝殿は昭和六年に建てられ九十年近く経ちました。傷みが進み、近年中

に改修工事を考えなければならぬ時期になりましたが、両殿の改修工事に取りかかるには、稲荷社前の楠の大枝をある程度取り払う必要があります。

この二本の本格的な枝はらいは技術に難しいとされ、長年検討されながらも見送っておりましたが、技術的に可能である業者様とご縁ができた。今回の運びとなりました。

御神木の枝はらいのため丁寧に祭典を行い、作業の安全と木々の無事の成長を祈願しました。公園にクレーン車を入れて大枝を吊り下げながら切り、約二週間の作業は無事終わりました。期間中は参拝者様ご近所の皆様にはご迷惑をおかけしました。今後安全管理を心がけてまいります。



上・稲荷社前の楠の大木

下・楠社の楠さん

クレーンやゴンドラを使って大枝を切り落とす

境内だより〜春の行事〜

四月五日 いぼ大神祭



たくさん玉子をお供えします。今年もたくさん氏子様がお参りされました。

四月十五日 春祭

前日からあいにくの雨で、献湯神事では氏子地区の数を意味する七つの湯釜を三つにするなど、悪天候の中でもお祭りができるよう準備しました。神事が始まる頃に雨がやみ、参拝者は無病息災になるといって湯を浴び、魔除けの笹が授与されました。献湯神事は正月、春・夏・秋祭の年四回行われます。

平成三十年度 お祭りの日程

【夏祭】

七月二十一日(土)
二十二日(日)

【秋祭】

十月二十七日(土)
二十八日(日)

※それぞれの月の「第四日曜日とその前日」です

ご祈禱案内

初宮詣 七五三詣 家内安全
厄除 病氣平癒 自動車
改築・転宅方除
地鎮祭などの
各種出張祭典

お電話にてご予約ください
06(6951)2196



夏越大祓

六月三十日(土)午後四時開式、社務所にて斎行します。六月から社頭に人形と申込用紙をご用意しますので、随時お申し込みください。

住所	氏名	生年月日
年齢		

境内の桜

三月末に気温が上がり、例年より早い満開を迎えました。四月の入学式の頃には葉桜に変わって少し残念でした。

